

NPO法人

真の友と奏でる、学びの喜び



# 新しいちよう大学校

開講 ● 7つのコース

① 日本の近代文学

② 英語を学ぶ

③ 英会話

④ 伝統と芸能

⑤ 音楽の魅力

⑥ 日本の歴史と大

⑦ 国際社会への理解

## 第7期受講生募集

応募の締切 2020年4月10日(金) / 開校式 2020年4月20日(月)

<OCATビル>



《受講の会場》

大阪市立  
難波市民学習センター  
(OCATビル4階)

最寄り駅 各線「難波駅」

ご挨拶

### 「新しいちよう大学校」第7期を迎えるにあたって

新しいちよう大学校の第7期の受講生を募集する季節となりました。みなさんお元気でしょうか。新しいちよう大学校は、「歳をとっても勉強」と「異世代間コミュニケーション」を建学、運営のモットーとしています。「歳をとっても勉強」は、旧いちよう大学からのものですが、近年、この言葉が表す姿勢がより重要性を帯びてくるようになりました。メディアの情報技術の発展とともに、社会の様相は国際社会、国内社会を問わずますます複雑になり、この先どのような世の中となるのか見えづらくなってきています。こういった中、若い人たちが将来に対して明確な希望を持たないまま今の時代を過ごしているように思えます。このような状況にあって、これまでの充実した長い人生経験の上に立ち、高齢者が一層高度な学識を身につけ、世の中に向かって明るい希望や期待を持った社会的な発言をしていくことが必要であると考えられています。高齢者の役割は日増しに高まっているといつてもよいでしょう。

新しいちよう大学校は、高齢者が勉強する大学として設立されて以来6年の実績を積み重ねてきました。受講者も年々増加し、授業もコース数と内容で充実し、また授業外の行事としての研修バス旅行や新年会（NEW YEAR CONCERT）も定着しました。同窓会の機能を含んだ「いちようの会」という新しいちよう大学校関係者全員の親睦組織も発足して、新しいちよう大学校の活動はさらに受講生にとって意義のあるものとなっています。ここまでの道のりに対して、受講生のみなさんはもちろん、設立以来「後援」していただいている大阪府、大阪市教育委員会、大阪教育文化振興財団に深く感謝いたします。

大阪のみなさん、いままでの素敵な人生を基礎に「歳をとっても勉強」いたしましょう。第7期へのみなさんのご応募を心よりお待ちしております。

2019年11月

NPO法人 新しいちよう大学校

理事長 柴山 靖司

《後援》 大阪府 ・ 大阪市教育委員会 ・ 一般財団法人大阪教育文化振興財団



# 1. 学習セクターのご案内

《月曜日開催のコース》：（各コース定員 30 名）

コース	発 想	講義のテーマ	講 師
①日本の近代文学	今の時代はあまりに機械化され、人々はそれに振り回され、人間本来の生命力が損なわれています。そんな時代だからこそ、悩み、苦しみ、また笑い楽しむという生の人間を取り戻すことが必要と考えます。その初めの一手段として日本の明治以来の近代文学を学びます。また大阪に関しては多くの文化人と作家が生まれた帝塚山文化と文学を取り上げ、堺についても千利休や与謝野晶子などを学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代文学とは</li> <li>キリスト教と文学</li> <li>明治、大正の日本文学</li> <li>昭和の文学と戦争</li> <li>大阪の帝塚山文化</li> <li>帝塚山より生まれた文学</li> <li>堺の文化と文学</li> <li>千利休と与謝野晶子</li> </ul>	<b>◆講師</b> 天理大学名誉教授 <b>太田 登</b> 大阪樟蔭女子大学国文科准教授 <b>壇原 みすず</b> 産経新聞編集委員 <b>石野 伸子</b> さかい利晶の杜 学芸員 <b>森下 明穂</b> ほか
②英語を学ぶ	今や外国人に英語で日本の歴史や文化を語らなければならない時代です。この講座では John・K・Gillespie、JAPAN i A short History がテキストです。英文法的には中学 3 年生～高校 1 年生程度ですが単語には難しいものもあります。誰でも目や耳にハンディのある高齢者に合わせて、単語の発音と文章の読み、意味の把握のあと、同じ文章の聞き取りを 10 回ぐらい行います。そうすることで理解が進みます。語学の学習は反復や努力が大切です。努力することによって良い結果が導かれることが経験上わかっています。おおいに頑張ってくださいと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語と文章の発音</li> <li>ヒアリング</li> <li>文の大意の把握</li> <li>日本史の理解</li> <li>英語の学習法について</li> </ul> ※講義には辞書を持参してください。	<b>◆主任講師</b> 大阪外国語大学名誉教授 <b>柴山 靖司</b> <b>◆講師</b> ニューヨーク・ジュリアード音楽院卒 <b>金関 環</b>
③英会話	「英語を学ぶ」コースと同様に、日本の文化、歴史を発信できる英語を扱って学習をすすめていきます。このコースの受講生は、「英語を学ぶ」コースの受講生、卒業生、または「英語を学ぶ」コースの主任講師の面接を受けた方に限定させていただきます。みなさん活発に楽しくやっています。英会話では積極性が大切です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「英語を学ぶ」コースの上級講座として位置づけ</li> <li>日本の歴史、文化などを英語でディスカッション</li> </ul>	<b>◆講師</b> イギリス・エジンバラ大学留学 <b>石井 篤子</b> 関西外国語大学卒 <b>西田 佳枝子</b>
④伝統と芸能	日本芸能の源には豊かな水脈があり、中世においては能、狂言にみられるような、戯曲と音楽性の整った、完成度の高い舞台芸術が生まれました。近世初期には京、江戸、大阪の三都を中心とする都市形成の過程で、庶民芸能の場「劇場」が初めて定着しました。ここに近松門左衛門の名作を含む様々な人形浄瑠璃が生まれ、市川團十郎の荒事や坂田藤十郎の和事など多彩な歌舞伎が開花し、これらは現代人の心を今も打ち続けております。話芸においても、わが国には説話文学など様々な源流があり、近世には多彩な表現を伴って発展。やがて「寄席」が定着し、落し噺（落語）や講釈（講談）が豊かな内容を持って話されることとなります。今回はこうした内容を興味深く、わかりやすく、演者の立場からも解説します。	（能）能の世界と脳の表現 （狂言）狂言のおもしろさ 日本語の美しさ （歌舞伎）歌舞伎の東西、それぞれの特色（映像も交えて） （文楽）世界に誇る人形劇 人形と浄瑠璃を楽しむ （落語）落語の成り立ちから 東京と大阪、その面白み。 （漫才）万歳と漫才 その成り立ち 現代漫才界のさまざま （講談）講談という芸 昔といま	<b>◆主任講師</b> 元京都造形芸術大学講師 歌舞伎学会会員 <b>青木 繁</b> <b>◆講師</b> 能楽師 <b>武富 康之</b> 能楽師 <b>大槻 裕一</b> 狂言 大和座 <b>安東 伸元</b> 落語家 <b>桂 文三</b> 落語家 <b>笑福亭 生喬</b> 漫才作家 <b>藤田 富美恵</b> 漫才作家 <b>藤田 曜</b> 講談師 <b>旭堂 南海</b> ほか

《月曜日開催のコースの受講時間と開催日》 全 20 回

①日本の近代文学 コース	10:30～12:00	4月	27日	5月	18日、25日
②英語を学ぶ コース	12:30～14:00	6月	8日、15日、22日	7月	13日、20日
③英会話 コース	14:30～16:00	8月	お休み	9月	14日、28日
④伝統と芸能 コース	14:30～16:00	10月	12日、19日	11月	9日、16日、30日
		12月	14日、21日	1月	18日
		2月	8日、15日		

【受講料】 1 コース **35,000 円**（教材費含む） ※いったん納入いただいた受講料は原則としてお返しできません

※月曜の各コースの受講生は、〈 受講登録したコースの講座 20 回 ・ 合同講義 5 回 ・ シンポジウム 2 コマ 〉の合計 27 回分の講義を受講することができます。

《火曜日開催のコース》：（各コース定員 30 名）

コース	発 想	講義のテーマ	講 師
⑤ 音楽の魅力	「人類にとって音楽は必要なものであろうか!」。この疑問について考えながら、音楽界の話、クラシック、現代音楽、ジャズ、ポップスなどのジャンルを取り上げ、わかりやすくお伝えします。ヴァイオリニスト、オペラ歌手、ピアニスト、ジャズピアニスト、ピアノ技術者、ギタリスト、フルーティスト、ウッド奏者、コンサート制作者といったコンサートの創造や演奏に携わる講師たちが登場し、音楽の魅力について語り、みなさんと一緒にコンサートのあり方などを考えていきます。講義には、楽器演奏、オペラ歌手の実演もあり、さまざまな曲の解説も加わる楽しいものです。今まで音楽会、コンサートなどに縁の薄かった方々にも「音楽のとりこ」になっていただける時間です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシック音楽とその歴史</li> <li>・ヴァイオリンという楽器とその音楽</li> <li>・オペラは西欧芸術の華 オペラの名作、名曲</li> <li>・ピアノ芸術、楽器、ピアノの名曲</li> <li>・管楽器の独特な世界</li> <li>・ビジネスとしての音楽 音楽界の裏側</li> <li>・民族と音楽</li> <li>・ジャズやギター音楽のおもしろさ</li> </ul> *講義の中に生演奏の時間が多くあります。	<b>◆主任講師</b> ヴァイオリニスト <b>金関 環</b> <b>◆講師</b> 大阪音楽大学講師・声楽家 <b>清原 邦仁</b> ギタリスト <b>古川 忠義</b> ピアニスト <b>大橋 邦康</b> ジャズピアニスト <b>宮川 真由美</b> ピアノ技術者 <b>荒木 欣一</b> ウッド奏者 <b>加藤 吉樹</b> フルーティスト <b>森本 秀希</b> クラシックコンサート企画/制作 <b>村上 実和子</b>
⑥ 日本の歴史と大阪	歴史学は現在の変革のためにあります。これは大前提。また大阪については、日本の歴史を分析する中で考えます。日本史から独立した大阪の歴史などありません。そして歴史は時間の流れと関係した事実のみによって説明できるものではありません。日本の国もしくは民族には古い時代に形成された特徴があります。神話の社会で形成されて今でも残っている特徴です。天皇制。第二次世界大戦中、日本は、天皇は神だとして諸国をこの神の支配下におくためとして侵略しました。満州国問題について、今年に著名な西村成雄先生が講義を担当します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史から何を学ぶか</li> <li>・「古事記」「日本書紀」と神話の世界</li> <li>・神話が語る日本人の特質</li> <li>・「太閤記」と大阪</li> <li>・日本ならびに大阪と近世の経済</li> <li>・大阪経済と船場の商業</li> <li>・天神祭について</li> <li>・武士道とは</li> <li>・明治維新</li> <li>・藩閥政治論</li> <li>・大阪経済の没落と再興</li> <li>・日本史と大阪</li> </ul>	<b>◆主任講師</b> 奈良大学名誉教授 <b>實 清隆</b> <b>◆講師</b> 元京都造形芸術大学講師 <b>青木 繁</b> 大阪天満宮文化研究所研究員 <b>近江 晴子</b> 愛媛大学名誉教授 <b>岡村 茂</b> 大阪大学名誉教授 <b>西村 成雄</b> 大阪外国語大学名誉教授 <b>巢山 靖司</b> 産経新聞社社会部次長 <b>安本 寿久</b> 講談師 <b>旭堂 南海</b>
⑦ 国際社会への理解	国際社会は、国内社会と異なった特徴を持ちます。国際社会には国際法による秩序があるといわれますが限定的です。法は国家のような強制力によって行使されますが、国際法を行使する中立的公正な強制力は国際社会にはありません。国際社会は無秩序です。その結果、武力・軍事力を多く持った大国中心の政治が行われがちです。この軍事大国中心の国際秩序に対し、小国や後進国は自国の大衆を統合してたたかうために人種・宗教・言語・伝統・習慣などの共通性に依拠したナショナリズムを形成します。国際社会は複雑で、先を読むのは大変難しい状況ですが、本コースでは国際社会の基本概念を勉強することでこの難しい状況の打破を試みたいと考えます。今の時代・国際社会に注目しなければ何も分かりません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内社会と国際社会の相違</li> <li>・グローバル化</li> <li>・ナショナリズムとEU</li> <li>・ユダヤ人問題</li> <li>・アメリカ外交史</li> <li>・中国論</li> <li>・中東の諸問題</li> <li>・日本の外交</li> <li>・国際社会と言語</li> <li>・国際法と国連</li> <li>・紛争、戦争、平和</li> <li>・覇権問題</li> <li>・米中対立</li> </ul> ほか	<b>◆主任講師</b> 立命館大学教授 <b>南野 泰義</b> <b>◆講師</b> 大阪外国語大学名誉教授 <b>東 泰介</b> 名古屋経済大学博士 <b>影山 伊織</b> 大阪大学准教授 <b>中嶋 啓雄</b> 大阪大学名誉教授 <b>西村 成雄</b> 大阪大学名誉教授 <b>高階 美行</b> 大阪外国語大学名誉教授 <b>巢山 靖司</b>

《火曜日開催のコースの受講時間と開催日》 全 20 回

⑤音楽の魅力	コース	10:30~12:00	5月	12日、19日	6月	9日、16日、23日
⑥日本の歴史と大阪	コース	12:30~14:00	7月	7日、14日、21日	8月	お休み
⑦国際社会への理解	コース	14:30~16:00	9月	8日、15日	10月	6日、13日
			11月	10日、17日	12月	8日、15日
			1月	19日、26日	2月	9日、16日

【受講料】 1 コース **35,000 円** (教材費含む) ※いったん納入いただいた受講料は原則としてお返しできません

※火曜の各コースの受講生は、〈 受講登録したコースの講座 20 回 ・ 合同講義 5 回 ・ シンポジウム 2 コマ 〉の合計 27 回分の講義を受講することができます。

《合同講義とシンポジウム》

《合同講義》 全6回 時間 13:00~15:00(予定)

- ・第1回 2020年 10月 9日(金)
- ・第2回 2020年 11月 13日(金)
- ・第3回 2020年 12月 11日(金)
- ・第4回 2021年 1月 22日(金)
- ・第5回 2021年 2月 12日(金)
- ・第6回 2021年 2月 26日(金)

\*合同講義のテーマ、演題はその都度お知らせします。

《シンポジウム》 全2コマ

・開催日 2021年3月5日(金)

1コマ目 10:00~12:00

2コマ目 13:00~15:00



## 2. 文化・芸術セクターのご案内

コースと内容(各コース定員 30名)

<p><b>I. オペラ・音楽観賞会</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オペラ・音楽をDVDで鑑賞します。             <ul style="list-style-type: none"> <li>◇開催：奇数月の第1月曜日 13:15~16:00(予定)</li> <li>◇場所：難波市民学習センター</li> </ul> </li> <li>・年間6回、定例の開催として実施します。年会費制で6回分として6,000円。             <ul style="list-style-type: none"> <li>◇解説：杉田 信博(合唱指揮者)、巢山 靖司</li> </ul> </li> </ul> <p>・開催日：5月11日、7月6日、9月7日、11月2日、1月11日、3月1日 ※いずれも月曜日です。 13:15~16:00(予定)</p>
<p><b>II. 国際文化研究会</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際問題を講師の講演を中心にディスカッションして理解を深めます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>◇開催：偶数月の第1月曜日 13:15~16:00(予定)</li> <li>◇場所：難波市民学習センター</li> </ul> </li> <li>・年間6回、定例の開催として実施します。年会費制で6回分として6,000円。</li> </ul> <p>・開催日：4月6日、6月1日、8月3日、10月5日、12月7日、2月1日 ※いずれも月曜日です。 13:15~16:00(予定)</p>
<p><b>III. 伝統芸能鑑賞会</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統と芸能コースOBを中心に、現役も参加できる鑑賞会です。</li> <li>・時に応じて開催します。</li> </ul>

\*「文化・芸術セクター」の各会(I、II、III)への入会は随時可能で、開催日に手続きを行いません。



## 3. 開校式・オリエンテーション

開校式：2020年4月20日(月) 2部制  
 1部 月曜日コース受講者 10:00~12:00  
 2部 火曜日コース受講者 13:00~15:00  
 オリエンテーションも時間内に予定しています。  
 ◎会場：大阪市立難波市民学習センター(OCAT)

会場



- 大阪メロ 四つ橋線・千日前線・御堂筋線「なんば駅」  
近鉄線・阪神線「大阪難波駅」 南海線「難波駅」  
それぞれの駅から、なんばウォーク、OCATウォークを西へ。  
「OCAT」の表示に沿ってお越しください。
- JR大和路線「JR 難波駅」下車すぐ。
- 市バス「JR難波駅前」下車すぐ。

【応募資格】 どなたでも(年齢・居住地は問いません)

【申込方法・応募の締切】

◆**申込方法：往復はがき**で申し込んでください。

- ①希望コース名 ②〒・住所 ③氏名(ふりがな)
- ④年齢 ⑤電話番号 ⑥あればメールアドレス を記入

返信用宛先面には、ご自分の住所をご記入下さい。

※申し込みは先着順です。定員になり次第、受付は終了させていただきます。応募先は、下記をご覧ください。

◆**応募の締切：2020年4月10日(金)**

【受講料】

◆学習セクターの7つのコース

1コースにつき **35,000円**(教材費含む)

※納入いただいた受講料は原則としてお返しできません。

【受講決定と通知、お振込みについて】

受付後、順次受講者を決定して、郵送(返信ハガキ)でお知らせいたします。すでに定員に達し、受講できない場合にも、郵送で必ずお知らせいたします。受講が決定された方には、詳しいご案内とともに受講料のお振込み方法についてご連絡いたします。

【お申込み・お問合せ】

NPO 法人 新いちよう大学校 事務局

〒540-0015 大阪市中央区十二軒町 1-3-103

電話・FAX 06-6765-5055

<https://shin-icho-daigakko.cloud-line.com/>